

ホームページ掲載文章

平成26年1月1日から平成26年12月31日までに当院で転移性脊椎腫瘍に対して
診断および加療を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：転移性脊椎腫瘍に対するリエゾン治療の効果、後ろ向き調査

川崎医科大学附属病院では2014年1月から整形外科をナビゲーターとして、臨床腫瘍科、泌尿器科、乳腺甲状腺外科、呼吸器外科、消化器外科、放射線科(画像診断)、放射線科(治療)、看護部、患者診療支援センターでワーキンググループを作成し、転移性脊椎症に対して全国に先駆けてリエゾン治療を開始しました。各部門が連携をとることにより診療科間や職種間の垣根を越えて、各種専門家によるチーム医療が可能となり、①転移性脊椎腫瘍を早期発見し、②脊椎支持機構の破綻前ならびに神経症状出現前に適切な治療を効率的に行うことで、③転移性脊椎腫瘍患者さんのQOLを維持することが出来ると考えています。

リエゾン治療を開始して間もないですが、その有用性について調査したいと考えています。対象は平成26年1月1日から平成26年12月31日までに当院で転移性脊椎腫瘍に対して手術を受けた方です。患者さんの経過を検討するための後方視的調査研究を実施します。具体的には診療記録から情報を抽出して評価します。抽出する項目は、麻痺の有無、脊椎不安定症の評価、予後の評価などです。調査実施期間は2017年2月9日より1年間の予定です。

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬企業など)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態と言います。この研究を実施する関係者には以下の如く奨学寄付金の受入がありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。この研究は後ろ向き研究であり、費用は発生しないと考えますが、費用が必要な場合は研究者：中西一夫の教員研究費を用いて行います。

脊椎・災害整形外科

メトドロニックソファモアダネック(株)、科研製薬(株)、中外製薬(株)、帝人ファーマ(株)
ファイザー製薬(株)、日本イーライリリー(株)、アステラス製薬(株)、武田薬品工業(株)
日本臓器製薬(株)、大正富山医薬品(株)、旭化成ファーマ(株)、大日本住友製薬(株)、第一三共(株)

泌尿器科学

第一三共(株)、キッセイ薬品工業(株)、アステラス製薬(株)、日本新薬(株)、グラクソ・スミスクライン(株)
ファイザー製薬(株)、旭化成ファーマ(株)、武田薬品工業(株)小野薬品工業(株)、アストラゼネカ(株)
大鵬薬品工業(株)

乳腺甲状腺外科学

武田薬品工業(株)、大鵬薬品工業(株)、エーザイ(株)、中外製薬(株)、アストラゼネカ(株)
グラクソ・スミスクライン(株)

呼吸器外科学

小野薬品工業(株)、日本イーライリリー(株)、協和発酵キリン(株)、CSLベーリング(株)

個人的収入として

なし

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報くださいますようお願い致します。

問い合わせ先：川崎医科大学脊椎・災害整形外科 中西一夫

〒701-0192 倉敷市松島 577 TEL：086-462-1111 FAX：086-464-1175

電子メール：seikei@med.kawasaki-m.ac.jp